

RFC2050の現状と問題点

~ RFC2050の課題 ~

Jul-9, 2002

江面 祥行
JPNIC IPアドレス検討委員
(株)インターネット総合研究所

課題のポイント

- ドキュメント体系とスキーム
- 実践とドキュメントの乖離
- RFC2050を変えらるとすると

ドキュメント体系とスキーム

- IPv4の場合は
 - 3つのRIR (ARIN/RIPE/APNIC) が発足する前に、ARINの前身であるInterNICが中心となってRFC2050が策定
 - RFC2050を前提に、3 RIRが独自に割り振り・割り当てポリシーを策定
 - 各RIRのポリシーは、一致していない部分もある
 - 時代の流れに追い越されている部分も
 - RFC2050とポリシードキュメントや実践の乖離も発生
- IPv6の場合は
 - RFCによる規定は行わない
 - 3つのRIRで共通のポリシーを策定して実践



RFCで規定する必要があるの？

実践とドキュメントの乖離 (1/3)

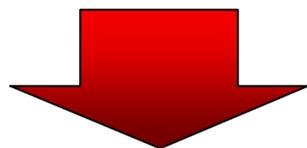
- 現実には、各RIRのポリシードキュメントで運用
- 実践とドキュメントが乖離しているところは、大きく2つ
 - 初回割り振り条件
 - 割り当て単位(組織の定義)

実践とドキュメントの乖離 (2/3)

- 初回割り振り条件

- RFC2050

- a) 主要な相互接続点に直接接続されている
- b) マルチホーム接続をしている



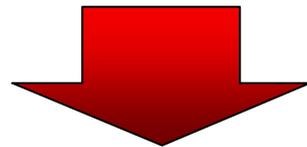
/24等の長いprefixの経路を抑止する狙いとして

- 実践

- a) 上位のISPから、既に/22を割り当てられ使用している、または直後に/22を使用することを証明できる
- b) 1年以内に/21を使うことを証明できる
- c) 1年以内に新たに割り振られるアドレスにリナンバする

実践とドキュメントの乖離 (3/3)

- 割り当て単位(組織の定義)
 - RFC2050
 - 共通する上位組織の傘下にあるすべての部門および子会社を含んだもの



現状のネットワーク構成では、
経路の集成が困難

- 実践
 - ISPとのネットワーク接続を持つ単位で割り当てを行い
利用率計算を行う

RFC2050を変えらるとすると

- ユーザの視点では
 - RFCで規定されなくてもよい
 - 割り振り/割り当ての基準が明確になればよい
 - 実践との整合性が図れればよい
 - 現状足りない部分が補足されていればOK？
- レジストリ(JPNIC)の視点では
 - グローバルに単一のドキュメントがあればよい
 - RIR間で統一されたポリシーがあればそれでよい？
 - RIRの差分がupdateされれば充分？

RFC2050って必要？(私案)

- グローバルに単一なドキュメントが必要なだけなら
 - グローバルに統一されたポリシーを策定
 - ◇ IPv6アドレスポリシーとの統一
 - RFC2050は廃止 (Obsolute) ?
- Any idea ?